

3 本市が目指す教育環境

(1) 南相馬市教育振興基本計画基本理念に基づく教育

南相馬市教育振興基本計画基本理念「自ら学び、自ら考え、生きぬく力を育むまちづくり」を教育の根幹とし、自らの力で社会を創造する人材の育成を図ります。

(2) 南相馬市公立学校適正化計画に基づく教育環境

『互いに学び合い、高め合うなど切磋琢磨する教育環境』

子どもたちが義務教育における集団活動を通して、協調や対立、共感や反発など、多種多様な人間関係を体験し学ぶことにより、社会性・協調性・集団性を培い、成長を遂げていくものです。

そのためには、様々な見方・考え方や経験を持っている友達との出会いが大切であり、互いに学び合い、高め合うなど切磋琢磨する教育環境を目指します。

(南相馬市公立学校適正化計画 (平成30年11月策定) 一部抜粋)

◎計画関連図

南相馬市教育振興基本計画 後期計画



南相馬市公立学校適正化計画



小高区小中学校再編計画

(3) 再編の目的

一般的に学校を統合する場合、地域コミュニティの象徴である学校が失われてしまうことや各校の特色がなくなってしまうなどのデメリットがあり、実際に小高区の小学校再編により学校が閉校となる地域もあります。

また、一般的な統合の目的として、児童生徒が減少し小規模化した学校を統合することで、学校を適正規模にすることが挙げられますが、小高区の小学校は現在、合同により運営しており、再編しても児童生徒数が増えるわけではなく、適正規模になりません。

しかし、小高区の復興や未来を担う人材を育成するため、地域と学校がより連携を強め、小高区全体の一体感をより醸成する必要があります。

また、小高区の小学校は緊急的に4校合同運営をしており、4校それぞれの単独運営が極めて困難な状況であり、将来にわたり小高区で安定的な教育環境を提供する必要があることから、小高区の小学校の再編を進めます。